

- 11、被ばく医療の訓練についてお尋ね致します。
- a. 定期的に事業者と訓練を実施している。
  - b. 定期的に院内だけで訓練を実施している。
  - c. どちらでもない。
  - d. 全く行っていない。

(11、a, b, と答えられた方にお尋ね致します。)

- 12、訓練の内容についてお尋ね致します。
- a. 事業所等の現場訓練に参加するだけ。
  - b. 実際の患者を想定し、現場から院内に収容し診療する。
  - c. 院内での訓練だけ。
  - d. 机上訓練だけ。

(全ての医療機関にお尋ねいたします。)

- 13、被ばく医療を必要とする患者が発生した場合、貴院ではこの患者を診療するとの

施設としての合意、あるいは用意がありますか。この場合、「用意」とは可能な限りの努力をして、の意味です。

具体例として、局所の放射能汚染を伴い、直ちに処置を要する四肢開放性骨折を患者を想定して下さい。

- a. 施設としての合意がある。
- b. 施設としての合意はないが用意はある。
- c. ない

(13、b, と答えられた方にお尋ね致します。)

- 14、その可能な限りの努力とはどのようなものですか。
- a. 院内のノウハウを総動員して行うこと。
  - b. 専門医療機関と連絡をとりつつ行うこと。
  - c. 他院から専門家を派遣してもらって行うこと。
  - d. 不明

(13、c, と答えられた方にお尋ね致します。)

- 15、その場合の対応策をお教え下さい。
- a. はじめから診療をお断りする。
  - b. 被ばく医療に対応できる医療機関に転送する。
  - c. 具体策はない。
  - d. その他 ( )

(同じく、13、c、と答えられた方にお尋ね致します。)

16、上記のような患者に対応できない理由は何ですか。(複数回答可)

- a. 施設がない。
- b. 受け入れ体制がない。
- c. 被ばく医療の知識がない。
- d. その他 ( )

(同じく、13、c、と答えられた方にお尋ね致します。)

17、貴院で今後、被ばく医療体制を構築する場合、どこに障害があると思われるか。複数回答可。

- a. 財政面
- b. 診療科、検査、看護部門等の協力が得られない。
- c. 専門家がいらない。
- d. その他 ( )

(全ての医療機関にお尋ね致します。)

18、被ばく医療に対応する院内体制についてお尋ね致します。  
対応する被ばく医療チームを前もって決めてありますか。

- a. ある
- b. ない
- c. 構築中

(17、a、とお答えになった方にお尋ね致します。)

19、被ばく医療チームの構成は。(複数回答可)

- a. 医師
- b. 看護婦(士)
- c. 放射線科医
- d. 放射線物理専門家
- e. その他 ( )

20、対応する医療チームのイニシャティブをとっておられるのはどなたですか。

- a. 産業医の資格を持った医師
- b. 救急医
- c. 放射線科医
- d. その他 ( )

(再び、全ての医療機関にお尋ね致します。)

21、被ばく医療に対応できる処置室（部屋、場所）がありますか。

- a. ある
- b. ない
- c. 不明

22、貴院には被ばく医療に関する診療マニュアルがありますか。

- a. ある
- b. ない
- c. マニュアルとまでいかないが、約束事はある。
- d. 作成中

23、貴院には、過去に放射線総合医学研究所主催の「緊急被ばく医療セミナー」または自治体・医師会等が主催する「緊急被ばく医療の講習会」等を受講された方がおられますか。

- a. はい
- b. はい、と答えられた場合、医師（ ）人
- c. はい、と答えられた場合、看護婦（士）（ ）人
- d. いいえ

24、貴院には、被ばく医療に必要なと思われる基本的な放射線学的知識を有している医療従事者がおられますか。

- a. はい
- b. いいえ
- c. 不明

(24、a、と答えられた方にお尋ね致します。)

25、おられる場合、その方はどのような背景を持った方ですか。

- d. 産業医の資格をもっている医師
- e. 救急担当医
- f. 放射線科医
- g. 放射線物理専門家・放射線管理者
- h. その他（ ）

(全ての医療機関にお尋ね致します。)

26、被ばく医療に関して相談したり、情報を得ることができる機関が必要と思われるですか。

- a. はい
- b. いいえ
- c. 判らない

27、上記質問にあるような機関が存在することをご存知ですか。

- a. はい
- b. いいえ

28、貴院（救命救急センター）には、放射能汚染患者のための除染室あるいは除染に利用できる温水シャワー付きの部屋（場所）がありますか。

- a. はい
- b. いいえ
- c. 不明

29、貴院（救命救急センター）には、以下のものが常備してありますか。

- ・サーベイメーター (a. はい b. いいえ )
- ・アラーム線量計 (c. はい d. いいえ )
- ・防水床シート (e. はい f. いいえ )
- ・フェイスガードマスク (g. はい h. いいえ )
- ・除染剤を含む除染セット (i. はい j. いいえ )
- ・鉛エプロン (k. はい l. いいえ )
- ・DPTAなどのキレート剤 (m. はい n. いいえ )
- ・汚染水を保管する容器や汚染器具、シートなどを一時的に保管するビニール袋、及びそれらの保健場所 (o. はい p. いいえ )

30、救急現場での被ばく医療体制についての現在の問題点は何であるとお考えですか。(複数回答可)

- a. 医療従事者に知識、経験がない
- b. 院内に施設、機器がない
- c. 経済的にみて非効率的である
- d. 専門医療機関とのネットワークがない
- e. その他 ( )
- ( )

31、現在、被ばく体制が整備されていない医療機関にお尋ね致します。  
貴院（救命救急センター）には、今後、放射線核種による汚染を伴う事故対策  
や緊急被ばく医療対策を計画、整備する意志がおりますか。

- a. ない。
- b. ある。
- c. 他の医療機関に任せればよい。
- d. わからない。

32、貴院（救命救急センター）は、地域医療圏の被ばく医療体制になかでの  
ような役割を果たすべきとお考えですか。

- a. 積極的に中心的な役割を果たすべきである。
- b. 他の専門医療機関が中心になるべきである。
- c. 地域には中心的役割を担う医療機関が既に存在する。
- d. わからない。

33、救命救急センターのみにお尋ねします。

地域の中心的救急医療機関として機能するのに、貴センターのスタッフに被ば  
く医療についての教育、研修が必要とお考えですか。

- a. はい
- b. いいえ
- c. わからない

34、その他、救急医療の現場における放射線事故対策準備に関する意見があり  
ましたら、お聞かせ下さい。

ご協力有り難うございました。